

「おうちで食育、漫画など展示

刈谷市役所食堂 児童の作品52点



机上のパネルに飾られている児童の作品＝刈谷市役所食堂で

新型コロナウイルス感染が拡大する中、「ステイホーム」での食生活を、四コマ漫画などで表現した刈谷市内の児童作品が、市役所八階の食堂に展示されている。市内の愛知教育大で生まれた食育推進キャラクター「食まるファイブ」を登場させているのが特徴。六月の食育月間にちなみ三十日まで。（神谷慶）

食まるファイブは国の「食事バランスガイド」の食、副菜、主菜、果物、牛乳・乳製品を表現している。二〇〇六年に愛知大知立市知立西小学校の子どもたちが命名した。五体の研究が考案した。五体の研究が考案した。五体の研究が考案した。



祖母から送ってもらった食材でカレーを調理した体験をまとめた作品

五、六年生から募集。昨年は募集作品の形式を変えた。食堂では、応募があった五十二点を机上の飛沫防止パネルに貼りつけて紹介。文章や絵主体の作品もある。感染を防止するため食事を通して丈夫な体をつくる大切さを伝える内容が多い。昨夏に父の実家に帰省できなかつた児童の作品は、青森県の祖母から野菜や米などを送ってもらってカレーを調理した経験を、四コマ漫画にまとめた。また、ドライフルーツやチーズ作りなどに取り組んだ様子を写真を使いながら紹介した児童の作品は「学校に行っている」とチャレンジできないこともでき、思い出になりました」と休校期間の感想をつづっている。